

光経済研究所株式会社

東京都中央区日本橋人形町 1-18-9 TEL 03 (3669) 2331(代)

証券投資顧問業登録関東財務局長第 557 号 日本証券投資顧問業協会会員 011-00557 号

2003 年 5 月 19 日号

ファンドマネージャー 出来岡 潔

<http://www.hikarikeizai.co.jp>

今回は、“基準線と株価との関係”についてのまとめです。

① **基準線の向いている方向が相場の向いている方向。**

とりわけ、**上に向いた瞬間**（4 月 28 日号のレポート参照）と**下に向いた瞬間**（5 月 12 日号）に注意して下さい。これまでの相場の方向に変化が生じる可能性が高いからです。

② 右肩上がりの上昇トレンドを描いている場合は基準線が**下値の壁**。反対に、右肩下がりの下降

トレンドを描いている場合は基準線が**上値の壁**になることが多い。

これは、チャートを見ていただければ一目瞭然だと思います。前回取り上げた **5016 新日鉱ホールディングス**を見ましても、上昇トレンドを描いている時は基準線が下値の壁。しかし、天井を打って下げに転じたら一転して基準線が上値の壁になっていることがよくわかります。

注意……極めて上に行く力（下に行く力）が強い場合は転換線が下値の壁（上値の壁）になることが多いとお考え下さい。（4 月 14 日号と 4 月 21 日号のレポート参照）

この件に関するお問い合わせは 03-3669-5022 質問メールは dekioka@hikarikeizai.co.jp

毎日更新、旬な銘柄を選んで分かりやすく解説する、無料テレフォンサービスの「やさしいチャート教室」 03-3669-5552 で放送中、是非お聞きください。

《新日鉱ホールディングス》日足



Alpha Chart 社製

をお願い致します。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。